

深めよう 地域のふれあい 広めよう ふくしの輪

白方地区社会福祉協議会広報誌

第10号

総務グループ

事務局 白方コミュニティセンター

TEL 029(287)3534

ふくし白方

「これからの地域福祉活動を考える」 研修会を開催

白方地区社協主催

各地域から参加したふれあい協力員など67名による研修会が平成25年2月2日(土)白方コミセンで開催されました。

テーマは「地区社協活動の未来に向けて」と題して、現状の食事会や地域活動などに関するスタッフや利用者の悩み、負担などを分析して、今後の対応を如何にすべきかを8グループに分かれ、ワークショップ形式でグループ討議を行いました。限られた時間の中で多くの反省や改善が出されましたが、その中の数点をご紹介します。

- (1) 食事会の調理スタッフに男性をスタッフを求める意見が殆どのグループから提案されました。
- (2) 交流会では、サロン形式への移行や、協力員同士が更に親睦を深め、且つ慰労も行う必要があろうとの提案。
- (3) 新たな協力員を勧誘する為には、現状の協力員の仕事内容が周知されていないのではないかとこの反省から、対策を講じる必要がある。等々

各グループの取り纏め役の発表の後、グループ毎のコメンテーター*から感想やアドバイスがあり盛んな研修会を終了しました。

この成果を生かして、次年度の活動に役立ててゆきたいと思います。

*コメンテーターの皆さん：役場 社会福祉課、介護福祉課、保険年金課、村社会福祉協議会



梅津会長の挨拶



参加者の皆さん



熱心にグループ討議



グループリーダーの発表

各地域の活動紹介

百塚地域

ふれあい食事会の調理スタッフに男性が参加

ふれあい食事会の弁当づくりに、9月から男性スタッフが2名参加し、女性陣に交じって楽しんで手伝っています。まだ不慣れですが、心温まる弁当を食べてほしいとの意気込みで頑張っています。



男性調理スタッフ

にぎやかに「そうめん流し」

7月5日、世代間交流「いきいきサロン&ちびっこ広場」で、地域の高齢者とちびっこ約60名が百塚集会所に集まって、にぎやかに「そうめん流し」を楽しみました。



そうめん流し

村松北地域

独自メニューで食事会

村松北地域のふれあい食事会は、昨年4月から地区社協から離れて、単独で食事づくりを行っています。調理する女性の負担軽減を考えて、食事の種類を4種類に限定し、5人1組で調理し、作る人も食べる人もお互いの顔が見える親近感で楽しんでいます。

第4週目はサロン形式で、絵手紙や村内ボランティアグループの協力をいただき、趣味や知識の勉強などで楽しんでいます。



食事前に会話がはずみます



ボランティアさんの協力で紙芝居

亀下地域

充実した多くの活動を展開

- ① 6月21日 亀下集会所 在宅訪問弁当配食 80歳以上37名に配食 (ふれあい協力員33名)
- ② 7月19日 亀下集会所 ふれあい仲間づくり 90名参加うち75歳以上47名 (ふれあい協力員31名)
- ③ 8月21日 亀下集会所 世代間交流会 66名参加うち子供21名、大人18名 (ふれあい協力員27名)
- ④ 10月11日 亀下集会所 亀下ふれあい敬老会 91名参加うち75歳以上46名 (ふれあい協力員25名)
- ⑤ 11月16日 協力員研修 筑波宇宙センター見学、筑波実験植物園見学 (ふれあい協力員35名)

各事業のねらいは、食事会やアトラクションを行って、楽しみながら多くの仲間との「ふれあい・健康増進」に役立てることに努めました。協力員研修は、協力員相互の研さんと絆を深めることを目的に実施しました。



協力員による熱演



筑波宇宙センターを見学

白方地域

焼き芋で世代間交流

12月2日、白方コミセンで世代間交流会を行いました。地域や家族が世代を超えて繋がり活性化を目指したもので、焼き芋をフーフー食べながらの風情とゲームを楽しむ親子の絆は大いに深まったことでしょう。また、参加者が昨年より増えたので今後手がかりを感じました。



輪なげゲームを楽しみます

アイデア満載 地域の敬老会

岡地域

ふれあいサロンとミニ敬老会

9月21日、岡区在住の75歳以上の高齢者を招待して開催しました。協力員と参加者による唱歌合唱、協力員による寸劇、昼食は手づくりうどん、天ぷらで舌つづみ、ビンゴゲームで楽しみました。当日欠席された高齢者には大饗饅頭を配り喜ばれました。



協力員による寸劇

豊岡地域

全員でフラダンス

11月10日(土)、豊岡区集会所に62名が参加して行われました。東海村ボランティアサークルの方々によるハーモニカ演奏を鑑賞し、参加者全員で童謡などの曲に合わせて合唱を行い、郷愁に浸りました。

また、華やかなフラダンスを楽しんだ後、先生の指導でフラダンスの「さわり」を全員が手を動かしたり、体を動かしたりして真似をし、リラックスムードでした。当日は、福祉委員会(豊岡区自治会)からのお祝い饅頭も頂き、皆顔をほころばせていました。



全員がフラガール

白方地域

和太鼓の迫力に圧倒

9月22日(土)、招待者120余名とスタッフ40名の参加を得て、白方コミセンで行われました。今年ご夫婦で80歳と85歳になられた3組と90歳を迎えられた4名の方々に記念の色紙が贈られました。舞台では手品や和太鼓演奏で盛り上がり、最後は会場の全員で懐かしの歌を大合唱し、にぎやかで楽しいひと時を過ごしました。



迫力ある和太鼓演奏



ゆっくりくつろいで下さい

豊白地域

ひょうきん踊りに大爆笑

9月17日敬老の日に合わせて、豊白集会所で招待者27名と役員・スタッフ合わせて43名が参加して開催しました。ひょうきん踊り、カラオケ、全員で童謡の合唱、ビンゴゲームなど楽しいひと時を過ごしました。



楽しい1日です



回想法で健康的な生活を目指しましょう

白方地区社協主催ふれあい協力員研修会

白方地区社協主催の研修会は9月14日(金)白方地区ふれあい協力員31名で、龍ヶ崎市にあるNPO法人龍ヶ崎回想センターで研修を行い、その後阿見町の予科練平和記念館を視察してきました。

「NPO法人龍ヶ崎回想センター」では、赤嶺センター長による「回想法で健康的な生活を目指しましょう」と題して講義を受けました。

回想法は、①楽しいおしゃべり仲間を作ります。②認知症予防に効果的に役立ちます。③大脳を活性化させます。など力説され、昔のミシンや農機具等の写真や思い出話をするだけで昔のことを思い出し、顔がいきいきするそうです。その後質疑応答等を行いました。

「予科練平和記念館」は、14歳～17歳までの少年たちによる海軍航空機の搭乗基礎訓練が行われたところで、厳しい飛行練習過程を経て戦地に赴きました。なかには特別攻撃隊として出撃者もあったそうです。当時の少年たちの気持ちが詰まっている資料館を見学しました。

参加したふれあい協力員から「高齢者に接するのに参考にしたい、今日の平和をかみしめたい等参考になることがたくさんありました。」との感想をいただきました。



熱心に聴講する参加者



予科練平和記念館を見学



地域包括支援センター「なごみ」をよく知ろう

白方地区社協主催ふれあい協力員研修会

7月8日(日)、白方コミセン会議室でふれあい協力員96名が参加して開催しました。

村の総合的介護福祉の中で、地域包括支援センター「なごみ」は介護予防の拠点としての役割を担っています。今回、センターを身近にとらえようとの目的で、村介護福祉課の藤田朋子氏を迎え、センターの事業内容、相談、対応状況などについて講演してもらいました。

その後、各地区社協の活動状況をビデオで鑑賞しました。

午後は白方地区の各地域での社協活動について、各地域リーダー代表から平成24年度の地域活動計画の紹介などの発表がありました。

参加したふれあい協力員から「今回の研修は身近で活動されている状況の発表で、今後の取組みをする上で参考になることがたくさんありました。」との感想をいただきました。



「なごみ」の事業紹介をする藤田さん



今後の取組みの参考になりました